



LI 校で6年生へのプレゼンテーション！



動画に見入る6年生達

学習を続けましょう！」「中高等部には、生徒会活動があり、生徒が自主的に活動している。そうした活動を通して学年を超えた仲間も増える」「アメリカの大学に入って、日本語ができたら、尊敬されるし、きっと役に立つ」等、中高等部の魅力を熱っぽく語ってくれました。たくさん子ども達が進学してくれることを期待しているところです。

先週4日に、LI校で中等部への進学を呼びかけるためのプレゼンテーションが、高等部の生徒達が初等部6年生の教室に出向いて行われました。卒業式を4ヶ月後に控え、保護者も交えて進学について考えている最中の子ども達、真剣に先輩達の話聞いていました。

説明する高校生達は、自分たちも同じに悩んで通ってきた道であり、進学することの意義について自信を持って語ってくれました。「学年があがると現地校との両立が大変になるが、このまま初等部だけで終わってしまうのは本当にもったいない」、「中高等部で学ぶことで日本文化についてもっと深く学ぶことができる」、「中高等部こそ学ぶべきものは多い、あきらめないで是非補習校での学



11/27 LI校3年1組白田先生の授業の様子

クリスマスシーズンに入る

ニューロッシェルの補習校事務所にもクリスマスの飾りが取り付けられました。サンクスギビングが過ぎた頃から、至る所にツリーやイルミネーションが付けられ、ホリデーシーズンの到来を告げているようです。子ども達にとってはサンクスギビングに始まるこの時期は一年で一番うれしい季節のようです。大人もいっしょに楽しんでいるように感じられます。寒い冬を迎える前に元気をもらえそうです。



子どもが喜んでいる姿を見ると大人もハッピーに感じるのは万国共通のようです。日を追うごとに住宅のイルミネーションが増えているようです。

教師の授業研修が続いています

秋から校長、教頭による授業巡視が行われています。全員がこの時期1時間の授業を準備し、それを校長または教頭が授業を一時間通して参観し、アドバイスするという取り組みです。もちろん授業巡視だけでなく、日頃の授業についても必要に応じて声をかけているところです。教師相互の参観ができればもっと効果的だと思いますが、補習校ではなかなかそうもいきません。そんな中、せめて校長、教頭が参観する形で、教師の指導力向上に向けて研修に取り組んでいるところです。

どの授業も机の配置や授業中のしつけに気を配り、掲示物やプロジェクターを使って提示するなど、楽しく分かり易い授業が展開されていました。これからも研修は続きます。